

NOOP NEWS

ノッブ

2014年初春号

19

ニュー・オペラ・プロダクション

〒168-0064 東京都杉並区永福 3-20-3 TEL : 03-3328-0817 FAX : 03-3328-0655
e-mail newopera@jcom.home.ne.jp URL http://members.jcom.home.ne.jp/newopera

明けまして、おめでとうございます。

新しい年を新しい希望の年としたい願いは大きいのに、現実には、ひしひしと不気味な暗雲が日本全土を覆いつつあり、暗く辛い戦争の時代を体験した私には、再び同じ過ちの道程を歩み始めているような不安に駆られます。原発、沖縄、憲法改変、秘密保護法、海外派兵、TPP、武器輸出三原則違反等の問題を、かつての様に私達は、ただ傍観していいのでしょうか。目に見える経済効果ばかりを重視し、自然や文化、心に関わることを軽んじる政治の貧しさが日々の暗



和歌山市民オペラ協会公演「末摘花」

い荒れた世相に如実に示されているように思えてなりません。

たとえ大きな力になり得なくとも、報われるところ少なくとも、NOPは少しでも多くの方に音楽から、喜び、安らぎ、活力を汲み取っていただくよう更に努力を続けます。どうか、皆様の相変わらずのご支援をお願い申し上げます。 代表 杉理一

神戸と和歌山でオペラ「末摘花」が上演されました

2月16、17日にはニュー・オペラシアター神戸、萩原理事長の、9月28日には和歌山市民オペラ協会、多田佳世子会長の要請で「末摘花」公演を演出、制作面で協力しました。和歌山では2011年の公演が絶賛され、沢山の地元の方々のご要望に応じての再演でした。

◆神戸では2007年「魔笛」上演の際、演出、制作協力して好評だったのに続く仕事でしたが、この6年間に同団体の事務局が実体を失い、支払いも滞り借財も積もり、裁判沙汰にもなる始末。出演者負担入場券が高額なため、間際まで出演者が決まらず、急遽、和歌山市民オペラ協会から5人の歌手が駆けつけての上演で、PR不足で客席はがらがらでしたが、舞台は立派に仕上がりに、来られた観客の方には大変喜んでいただきました。しかし、公演の後始末も最悪で、NOPが頼まれて斡旋した業者への支払いは先延ばしで少額の分割払い。何度話し合い要求にも全く誠意がなく、オーケストラ、大道具は裁判中。他の市民オペラ団体の信用まで失墜させるような態度に激しい怒りを感じています。

◆一方、和歌山市民オペラ協会、2011年公演のことはNOP NEWS 18号でご報告しましたが、リーダーの多田佳世子会長のもとに結集した歌手達のチームワークもよく、稽古熱心で、神戸公演にも、自分達の技量アップのため、積極的に参加、見事な舞台に仕上げるのに大きな力となりました。協力した歌手の皆さんの努力は、和歌山再演の際に見事に成果を表し、前回よりグレードアップした密度の高い舞台になりました。生憎、仕事の関係で出演できなくなった乳母役を、神戸で同役を演じたベテラン加藤紀久代さんが駆けつけ救ってくれました。



神戸公演：末摘花（矢野美由紀・右）叔母（久保美雪）



和歌山公演：右から、末摘花（中谷恭子）、乳母（加藤紀久代）、侍従（井谷有紀）

NOPオペラ・ビデオ鑑賞会講座 第2回、第3回シリーズ好評

2012年秋に東京文化会館大会議室で第1回シリーズを開催、NHKイタリア歌劇公演の映像の幾つかを、お見せしながら、公演の舞台制作、中継放送に携わった裏方として知り得た数々のエピソードを、お喋りしたのが、当時を知る方にも、知らない方にも、珍しく面白かったようで、私の所蔵する他のDVDも是非見せて、裏話を聞かせてというご要望が多く、それに応えて、今年も春と秋に東京文化会館中会議室で開催しました。

第2回目は4月13、27日、5月11、25日の4回で、「NHKイタリア歌劇アンコールと世界一流歌劇場来日公演の名場面集」というタイトルで、イタリア歌劇公演からは「オテロ」「カルメン」「ボエム」「西部の娘」「道化師」等、また、世界一流歌劇場の方は、ベルリン・ドイツ・オペラの「ファルスタッフ」「魔弾の射手」、メトロポリタン歌劇場の「椿姫」、ベルリン・コーミッシェオパーの「ボエム」、更にウィーン・フォルクスオパーの「メリー・ウイダー」「チャールダッシュの女王」からの名場面集をお楽しみいただきました。そして、もっと、この講座を続けて欲しいという多くの受講者の皆さんに励まされ、秋に次のシリーズを開講しました。

第3回目は10月12、26日、11月9、16日の4回で、「NHKイタリア歌劇とウィーン・フォルクスオパー・オペレッタのハイライトと伝説の名歌手達のアリアと歌曲、夢の饗宴」というタイトルでした。イタリア・オペラは「アンドレア・シェニエ」「ルチア」のハイライト、オペレッタの方は「ウィーン気質」のハイライトと「オペレッタ・カーニバル」をお楽しみいただきました。また、一流歌手のアリアの部は三大テノールは勿論のこと、デル・モナコ、ディ・ステファノ、クラウス、カラス、フレーニ、ベルガンサ、カバリエ、バステアニーニ、カップチルリ、ブルソン、ギャウロフ他、総勢21名、歌曲の方はヒュッシュ、ホッター、ディースカウ、プライ、シュライヤー、アライサ、シュトライヒ、テ・カナワ、アメリンク、ノーマンの10人、それにシュヴァルツコップフの「公開レッスン」もご覧いただきました。

余所では見ること、聴くことの出来ない映像記録に受講の皆さんは感動したというアンケートを沢山お寄せ下さいました。

こんなに皆さんが喜んで下さり、NHKが放送した数々の番組の素晴らしさを改めて認識して下さったことに、私も、この講座をやった甲斐があったと、しみじみと感じ、また、来年も、と欲が出て来ました。

目下、次のプランを検討中です。もし、また開催決定の暁は、是非、貴重なチャンスを逃さず、お出かけ下さいますように。



講座風景

静岡グランシップ「音楽の広場」2013 オペラ字幕監修

昨夏8月4日に静岡のグランシップという大会場で「グランシップ『音楽の広場』2013 3000人で創る真夏の音楽祭」という大きなイベントが開かれました。

広上淳一さん指揮のもと300人のオーケストラ、300人の合唱団、それに小さい子供さん達も混じったダンサー達、2000人余の観客も一体となり、富士山世界文化遺産登録のお祝いも兼ね、富士山に因む歌の大合唱もありました。また、ワーグナーとヴェルディの生誕200年記念の年でもあったため、二人の大作曲家のオペラや楽劇からのアリアや合唱曲も歌われました。初め、会場に吊り下げた大きなスクリーンには富士山や出演者の皆さんの映像を映し出すことにしていたようなのですが、オペラ・アリアや合唱曲の時には字幕を映し出そう、と言うことになり、公演の数日前、グランシップ館長でエグゼグティブ・プロデューサーの田村孝子さんから、私に協力要請があったのです。田村さんはNHKの出身者で、在職中、解説委員を務め

られましたが、その前は、私と同じ音楽部で働いていた同僚でもありました。公演は熱気溢れる雰囲気の中、最後にはホール内上空を巨大な飛行船が旋回し、いやが上にも会場の興奮は盛り上がり、成功裡に終わりました。



グランシップ「音楽の広場」2013 会場遠景



歌う3人の歌手と司会者(左から佐野成宏、安藤赴美子、青山貴、堀尾正明)

浜松アクトシティ・音楽アラカルトのビデオ講座

11月2日午後2時から、浜松アクトシティの音楽工房ホールで、百人を超す受講生の前で、1956年から20年間、8回に亘って、世界一流のオペラ歌手、指揮者、演出家を招き、日本人オーケストラ、歌手、合唱、裏方スタッフと共同で上演したNHKイタリア歌劇公演がどんなものであったか、それが、その後の日本のオペラ界発展にどれだけ貢献したかを、当時の映像を投影し、裏方の苦心談、面白いエピソードをお話して、東京文化会館での講座同様、来場の皆さんに大変、楽しんでいただくことが出来ました。ここの音楽監督の竹森道夫さんも、NHK音楽部と一緒に机を並べて働いたことのある同僚です。



アクトシティでの講座風景

お知らせ 2014

♪NOP友の会会費納入は以後不要です

友の会会員の皆様には、長年に亘っての方も、最近ご入会になった方もいらっしゃると思いますが、日本のオペラ界振興のために微力ながら、可能な限り懸命な努力を続けているニュー・オペラ・プロダクションの活動をご理解下さり、応援して下さいたことには、心からありがたく感謝しております。

しかし、報われるところ少ない、この仕事に、無責任に周囲の人を巻き込むことを避け、文字通り家内工業的に、事務処理等は可能な限り他の力を頼まず、独力でやってまいりましたが、加齢による体力の衰え、事務処理能力の低下も考慮に入れ、自主のオペラ公演、コンサートの開催を控え、他の団体、組織からの協力要請に応える形を取ってまいりました。しかし、経済界全般の低迷が文化活動の衰退に拍車をかけ、様々な団体が活動を停止したり、公演規模、回数を減らす傾向は益々進行しています。

今までNOP友の会では、いただいた会費をニュー・オペラ・プロダクションの活動の赤字補填や更なる活動展開の資金として使わせていただき、そのお礼のほんのお印に、会員の皆様へは自主公演や依頼公演の入場券を優待割引きしてまいりました。しかし、余程、好条件に恵まれない限りは自主公演を止めにし、身近での依頼公演も減少している折柄、皆様からお力添えいただいても、寸志のお返しもむずかしくなり、大変、心苦しい状況となりましたので、本年から、友の会会費をいただくことを止めにしました。今まで会員だった方には引き続き、NOPの活動は随時、お知らせしますし、幸いにして自主公演、コンサートが開催出来る事になった時、また、依頼公演で主催者のご理解が得られた時には、入場券の割引き優待を実施して行きたいと思っています。また、近々、今までの感謝を込めた友の会懇親パーティ・コンサートも開催したいと思って、計画を練っています。

以上、甚だ勝手ではありますが、ご理解、ご承引下さいますよう、お願い申し上げます。

ニュー・オペラ・プロダクション代表 杉 理一

晴れた日には 富士山が見える
ガーデンテラス付きイタリア料理店

Amalfi
CASTELLO

03-5490-7731

世田谷区成城6-5-34 成城コルティ4F
小田急線成城学園前駅隣接ビル

世田谷線 京王線 下高井戸駅
駅前徒歩1分のピッツェリア

pizzeria
TONINO

Cucina Mediterranea

03-3324-3090

世田谷区松原3-28-10

新風書房出版「孫達への証言」原稿募集に応募

これは本来、NOPの活動とは全く関係ないことなのですが、皆様、その存在、活動を是非知っていただきたくて、この紙面に掲載することにしました。

昨年3月、新風書房という出版社が「孫達への証言」という題で、戦時中の体験談を募集していることを新聞で知りました。戦争中、日本国内で、或いは国外で、辛い苦しい生活を余儀なくされ、その恐ろしさ、苦しさを体験した世代の人が高齢化し、その恐ろしさを後世に伝えることなく、次第に、その数を減らしつつあります。平和に慣れて、その尊さも知らず、今、同じ過ちを犯しそうな状況になりつつあるのにも鈍感な世相に、危機感を抱いた新風書房社長の福山琢磨氏が、二十数年前から、このテーマでの文章を毎年一般から募集し、沢山の応募作品から数十篇を選び出して出版し続け、今や26冊目の募集をしていると知り、私も敗戦時の上海での体験を規定の1600字にまとめ応募してみました。それが何と873篇集まった原稿の中から選び出された74篇の一つに採用され、「孫達への証言」第26集に掲載、紹介されました。

他の73篇の中にまじった自分の体験談を読んだ時、私は自分が敗戦時、中国人に「バカヤローッ！」と罵倒されたり、天皇の降参詔勅が一週間遅れていたら、上海海軍陸戦隊に入隊し、一兵士として北支へ、シベリアへ送られ飢え死にしていたかも知れない予想など、何と甘チョロイことだったかを思い知らされました。

戦時中、「お国のため」に、かり出されて満蒙の地へ開拓団として送り込まれた人々が、敗戦と同時に、いち早く日本に逃げ帰った関東軍首脳に取り残され、中国人やロシア人に家財を略奪され、目の前で家族を殺され、乱暴された上、飢えと命の不安に怯えながら逃亡に継ぐ逃亡を余儀なくされたこととか、日本にいて、アメリカ空軍の絨毯爆撃で家を焼かれ、肉親を失い、幼い子供達が、焼けられた死骸の上を踏み越えて逃げ延びねばならなかった悲惨さは、「国のため」という虚名に欺かれた人々の塗炭の苦しみを目の前に突きつけられる思いがしました。

今、その体験を知る人が次々と世を去り、戦争の恐ろしさ、愚かさを知らない世代が国を動かし、同じ過ちを繰り返し、それに反対する人に秘密保護法で、かつてと同じように沈黙を強い、牢に繋ごうとしているように思えてなりません。

それを防ぐためにも、是非、この本のご購読をお勧めします。また、年配の方で、ご自身の後世に伝えたい戦争体験をお持ちでしたら、是非、ご投稿なさってみることをお勧めします。

新風書房（福山琢磨社長）の住所、連絡先は次の通りです。

また、同書の値段は一冊1300円です。

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町5-17

電話：06-6768-4600 FAX：06-6768-4354 e-mail: fukuyama@shimpu.co.jp



第27集(平成26年度)のテーマ

“あの記憶”を風化させてはならない

応募締め切りは毎年3月31日です

応募要項

- | | |
|--------------|-----------------|
| 第1部 国内での体験 | 第4部 戦後、それからの私たち |
| 第2部 国外での体験 | 第5部 特別編 |
| 第3部 亡き人たちの証し | 第6部 学童疎開の記憶 |

内容／①戦争体験

- ②戦争に関するドキュメンタリー体験
- ③戦争などで犠牲になった肉親のこと
- ④戦後の苦境をどう乗り切ったか

字数／1600字以内(原稿用紙4枚)

記入／氏名・年齢・住所・電話番号を明記のこと(匿名は不可)

締切／毎年3月末日まで

入選／約80編を単行本として出版(8月)

謝礼／採用はその集を1冊

発表／本紙「マイ・ヒストリー」夏号

販売／8月中旬、全国の主な書店で。無い場合は下記へ直接申し込むと直送します。送料は実費負担して頂きます。定価は1300円+税。

送り先／

〒523-0021 大阪市天王寺区東高津町5-17

株新風書房「証言集」係

TEL: 06-6768-4600 FAX: 06-6768-4354

*写真は採用決定後、提出していただきます(提出写真は希望者のみ返却します)。

*原稿の返却はいたしません。